



FRIENDS

The Friendship Force of Saitama 会報 第 88 号(2013)
<http://www.h7.dion.ne.jp/~saitama/>

Kapiti Coast クラブとの交換を終えて

9月29日(日)～10月6日(日) ED 羽島継男

2011年5月に予定された交換が、東日本大震災のため延期となり、今回ようやく実現することとなった。埼玉クラブ総力での歓迎行事とその周知準備のおかげで、素晴らしい一週間をプレゼントすることができた。

札幌クラブでのホームステイを終えて、9月29日に一行19名は新幹線で大宮入り。

今回はウェルカムパーティーの会場が確保できなかったため、3日目に略式ウェルカムセレモニーと日本文化紹介を抱き合わせで行うこととした。

4日目に行われた東京バスツアーは、このツアーの目玉でもある皇居内庭の見学があいにく激しい雨にたたられたが、これも思い出に残る一幕となった。

フェアウェルパーティーでの和やかな歓談、アンバサダーと埼玉クラブが一体となって踊った「花笠音頭」「まつけんサンバ」など、両クラブにとって深い絆を確認できた交換であった。



東京バスツアーの一コマ

ホームホスト

原田 史

初めてのホスト経験。ともかく家の片づけが大変でした。Debbieを迎え入れた時は「あー何とか間に合わせた」と一仕事終わったような脱力感がありました。夕方、息子が9カ月の孫を連れてやって来て、初めはちょっと泣いた孫もそのうち慣れてきて、最後はDebbieに抱かれて、頂いたばかりのキウイのぬいぐるみをなめてごきげんでした。家族的おもてなしになったかと思えます。

6泊の内の1泊は郡山宅にステイで我が家は5泊、最初の晩のみ私の料理した夕食を上げて

頂きましたが、後は突然のおよぼれ、ディナーホスト、3家族の夕食など。料理の得意でない私には有難い展開になりました。

日本人と少し違うのではないかと思うのが、fresh airが大事と9月末の夜に窓を開けたまま寝ようという大胆かつ暑がりな所です。日頃、小さな牧場の中の、20年間手を加え続けた家で暮らしておられる由、のどかな環境でしょう。

来年のNZオークランドでの世界大会に参加できれば再会がかなうでしょうか。

ホームステイ中の事故 沼 純子

これまで何度もホームステイ受入れをしました
が、今回初めてゲストを救急車で病院に運ぶとい
う突発事故を経験しました。ベッドの上に座って
片付け中にバランスをくずして落ち人工股関節を
脱臼、身動きができなくなったのです。幸い骨折
などの異常がなく、はずれた股関節を元どおり
にはめてもらってその日のうちに帰宅することが
できました。彼は長旅に備えて病歴や人工股関節
のレントゲン写真、服用している薬などの資料を
持参していたので医師にすぐ渡すことができ、
治療に役立ったと思います。費用は5万円
近くかかりました。

今回の事故で、私達が渡航する際にも、持病
などがあれば、薬や病気について英文の文書
を用意すること、万一に備えて相応の旅行保
険をかけることが大切だと改めて感じました。
又ゲストが病気や事故で治療を受けた時
には、保険の請求にも必要ですので英文の
診断書を医師に書いてもらわねばなりません。

(参考となる英文の診断書はクラブにあります)
彼は杖をつきながらも埼玉以降の日本の旅
を無事終えることができました。帰国後は元
気に足腰の鍛錬に励んでいるようです。ほん
とによかったです。



Barry and Cicely

ニュージーランドからの会員を受け入れて 中島正子

10月4日は私が役員をしている「東京ワシントン
ウィメンズクラブ」の総会があり、その準備に追
われていたので1,2,3日と3日間だけ、ニュージー
ランドからのMane Bishopさんを、FFでは初めて
お引き受けいたしました。私がいつも心がけてい
ることは、相手に合わせた無理のない私の生活
の美学を楽しんでいただくこと。



書道にチャレンジ

1日は日本文化紹介があり、2日はバスツアーと
続いたので3日目は我が家でゆっくりしていただ
きました。40年前に私が旅行したオーストラリア・
ニュージーランドのアルバムをお見せして思い出
話を語ったり、娘と1歳半の孫を呼んで一緒に食
事をしたりして楽しんだ後、我が家の庭や市民の
森を散策。草笛を鳴らしているグループに出会い
音色に聞き入ったり、リス園ではチョコチョコ動
き回るリス達を目で追い廻し、童心に戻ってキャ
ーカー…散策の後はそのどが渴いたので、Mane
と一緒にコンビニでドリンクを買って公園のベン
チで一息。

孫が遊具で遊んでいるのを、一緒に晴天の中
にこにこして見守りました。初めてなのに昔から
の知人であるかのよう…心と心の触れ合いがFF魂
かも知れませんね！

FF 日本大会(鳥取)に出席しました 原田 史

10月19日(土)に米子で開催された日本大会への出席は25クラブの内、23クラブ。埼玉からは五十嵐、佐藤、沼、原田の4人が参加しました。6月に就任したばかりのFFI会長Joyさん、新FRCの金元さん、新FRの沼さん、森川氏も紹介され、変化を印象づける場となりました。

会議では受け入れの際にアンバサダーがばらばらに到着し、対応に大変な思いをする例があり、今後はまとまったグループでの来訪を要求していきたいとの意見があり、同じ悩みを経験している各クラブの代表から賛同を得ました。

少人数の単独クラブ渡航も認めてとの要望に

肯定的な反応がありました。

グローバル・エクスチェンジについては「日本では余り参加者が多くない」、「用心深く眺めている傾向がある」ようでした。

オープニングでの高校生のお神楽の圧倒的なパフォーマンス、懇親会で「出ました」安来節。自らのクラブが将来、日本大会を主催する時の出し物について悩みを抱えたクラブも多かったようでした。

翌日のバス旅行は遷宮に沸く出雲、趣ある松江、鬼太郎の境港など多彩で選択に迷うほど。楽しい一日となりました。

※ 日本のFFクラブは北日本(6クラブ)関東(4クラブ)中部(7クラブ)西日本(8クラブ)の4地区に分かれており、各地区にFR(Field Representative)がいます。FF日本にはFRC(Field Representative Coordinator)がいて全体の調整・FFIとの折衝などにあたります。

国際フェア 2013 五十嵐 佑子

埼玉県国際交流協会主催「国際フェア2013」が、11月2日、3日の2日間、新都心駅ケヤキ広場に75のブースが並び、盛大に行われました。

各国の料理、食品、衣料品などが販売され、国際交流団体の展示も数多く出されました。その中であって、フレンドシップ・フォース・オブ・埼玉も近年の渡航・受入れの写真パネル、発足以来の年表、海外の土産物の飾りつけをし、国際的な明るく楽しい雰囲気ブースを作り上げ、行きかう人の目を引きました。

2日の午前は、原田・五十嵐、午後は赤川・高橋(節)・石井、3日の午前は羽島・大熊・加藤、午後は沼・江田・太田(和)の各会員が当番として

訪者に説明・勧誘を行いました。

努力の甲斐あって、多数の方が連絡先を記入してください、その中には今後のイベントなどの参加を通して、入会者が出ることも期待されます。

埼玉クラブの活動が大勢の方々に知ってもらえる良い機会となりました。



明るい雰囲気のブース



新会員紹介

小野 貴美

嬉しいことにFF埼玉の会員で友人の堀切さんの優しいお声掛けで、初めて10月1日のウェルカム ミーティングに参加させて頂きました。

日本文化の茶道が好きで、そしていつか上手に成りたいと英会話を細々と勉強している私には、夢のような機会でした。

有難くも寄せて頂いた私は、FF埼玉の皆様方の才能あふれる数々のパワフルな日本文化紹介と体験コーナーに圧倒されながら、その心づくしのおもてなし精神に大変感動致しました。

本当に今は何も出来ない私ですが、是非皆様に教えて頂きながら、少しでも おもてなしのお手伝いが出来ればと願っております。

美味しい抹茶を点てることに掛けては、自信があります。皆様に飲んで頂きたいです。どうぞ宜しくお願い致します。

クラブからのお知らせ



今後の概略スケジュール

12月	8日(日)	10:00	理事会 シーノ7F 講座室2
		13:30	第1回ブタペスト交換委員会 6F 工作工芸室
12月	16日(日)	p.m.	イヤーエンドパーティー 浦和コミセン第15集会室
1月	12日(日)	10:00	理事会 シーノ7F 講座室2
		13:30	第2回ブタペスト交換委員会 シーノ6F 工作工芸室
1月	26日(日)	p.m.	2014年総会 北浦和カルタスホール第2会議室
2月	16日(日)	10:00	理事会 シーノ7F 講座室1
		13:30	第3回ブタペスト交換委員会 7F 講座室3
3月	16日(日)	10:00	理事会 場所未定
		13:30	ブタペスト 第1回ワークショップ 場所未定
3月	29日(土)	～	4月5日(土) ブタペストクラブ受入れ

渡航・受入予定

渡航：9月 ウイニペグクラブ(カナダ)、ロングアイランドクラブ(アメリカ)

受入：3月 ブダペスト(ハンガリー)、11月 ルーヴァン(ベルギー)

編集・発行

ザ・フレンドシップ・フォース・オブ・埼玉 事務局

〒337-0052 さいたま市見沼区堀崎町 295-7

TEL：048-684-9733 FAX：048-684-9733

発行日：2013年12月15日